

2020 年 5 月 29 日
金沢大学に支援を求める学生有志の会
代表 学校教育学類 3 年 清水 祐輔

金沢大学生への新型コロナウイルス感染症感染拡大に 伴う影響の調査及び学長対談報告書

内容

1. 本活動の目的
2. アンケートについて
3. Change.org にて行った署名（対象制限なし）について
4. Google form にて行った署名（在学生限定）について
5. 金沢大学の緊急融資に対する緊急アンケートについて
6. 要望事項

1.本活動の目的

新型コロナウイルス感染症感染拡大やそれに伴う緊急事態宣言の発令に伴い、学生生活に様々な影響が生じています。全国規模では、高等教育無償化プロジェクト FREE が行った調査によると、アルバイト収入が減少、もしくは0になった学生が6割、2割の学生が退学を検討しています。その中、様々な大学で学生に対する支援が打ち出されています。

しかし、大学独自の支援にも予算の限界があります。特に国公立大学では、運営費交付金の減少や運営費交付金額の維持のための取り組みの一環として全員留学などの実施により、関東圏の大学を中心に値上げをしているのが現状です。また、今年度に入り、文部科学省では大学の授業料自由化の議論が始まっています。

先に述べた通り、新型コロナウイルス感染症感染拡大によって学生生活に悪影響が生じています。本活動では、金沢大学生の経済状況に関するアンケート調査と署名活動を行い、4月末に金沢大学から発表された「無利子・無保証人の緊急融資」に対する学生の意見を集めました。大学と学生が対立するのではなく、学生に寄り添った運営とそのための働きかけを国・政府などに対して行っていただきたいと思い、本活動を始めました。

2.アンケートについて

調査対象：金沢大学在籍生

調査期間：4/25～5/6

回答数：267

調査方法：Google form を用いて SNS で拡散

結果：回答した金大生のうち、7割がアルバイト収入を生活費に充てていると回答した。また、1割が学費に充てていると回答した。新型コロナウイルス感染症拡大後のアルバイト収入の変化を尋ねた項目では、約40%が「0になった」と回答。「1～3割減収」並びに「4～6割減収」はそれぞれ約15%である。一方、「減収無し」「増収」と回答した学生は25%ほどであった。新型コロナウイルス感染症に伴う「コロナ休学」並びに「コロナ退学」を検討すると回答した学生は回答者の6%と少数ではあるが、金沢大学においてもこうした実態があることが明らかになった。

3.Change.org にて行った署名（対象制限なし）について

署名対象：制限なし

署名期間：4/22～5/6

賛同者数：283名

4.Google form にて行った署名（在学生限定）について

署名対象：金沢大学在籍生

署名期間：4/25～5/6

賛同者数：116名

5.金沢大学の緊急融資に対する緊急アンケートについて

調査対象：制限なし

調査期間：5/3～5/6

回答者数：30人

結果：貸与であること、貸与期間が3か月であることに不満の声が寄せられた
「給付型を求めるが、大学の予算が厳しいこともわかっているため、実現できないだろう」という声も見られた。

6.要望事項

1. 本学独自の学費減免に充てる予算を増額してください。
2. 融資ではなく、大学独自の給付型奨学金を支給してください。
3. 生活に困窮している学生に対して、納入した学費の一部を返還してください。
4. 留学から緊急帰国した学生への補償を早急に示してください。
5. 政府に対して、学生支援の拡充を求めてください。
6. 政府に対して、従来の教育制度を抜本的に見直すよう要請してください。

7.学長対談を終えて

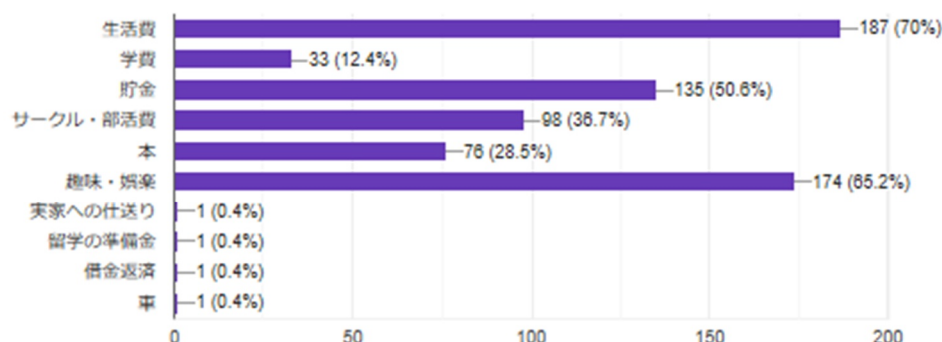
これらの結果並びに嘆願書を大学側に提出したところ、5月20日に学長との対談を行なうことになった。会談において山崎学長は「(緊急融資は) あげようと思って始めた。今すぐ返せというわけではない。余裕ができれば出せ払いで大学基金に募金してくれればよい。貸与型としたのは、本当に困っている人に対象を限定するためである。」と言及したうえで、現在100名以上の学生が申請していると述べた。また、現段階での対象可能人数は800人ほどであるとも明かした。上記の要望項目に対しては明確な返答がなく、「学生支援策として組まれる補正予算のうち、金沢大学に割り当てられる予算の範囲内で行う」という趣旨の発言にとどまった。一方で5、6の要請項目に関しては、「国立大学協会副会長という職であるため難しい。」と明確に回答した。

対談における発言は、金沢大学がホームページで掲載している支援策と比較すると筋が通らない点が多い。仮に対談における発言が真意であるとすれば、貸与型であるために申請しない、困窮学生（この表現を用いることに対し、かなりの抵抗を感じていることに言及しておく）に対しては支援が行き届かない事態が生じる。また、現在推薦申請が始まっている緊急支援金に関しても基準がかなり厳しいものになっており、すべて満たす必要がないとしても、学生側からは申請自体を諦める声が上がっている。大学でできる支援に限りがあるとしても、学生が精神的な負担なく学べる支援を期待する。また、今回（前期）に限ったことではなく、今後も同じ問題が生じる懸念があり、継続的に学生の声を集める活動をする必要性も感じる。

以上

アルバイト収入は何に使いますか？

267 件の回答



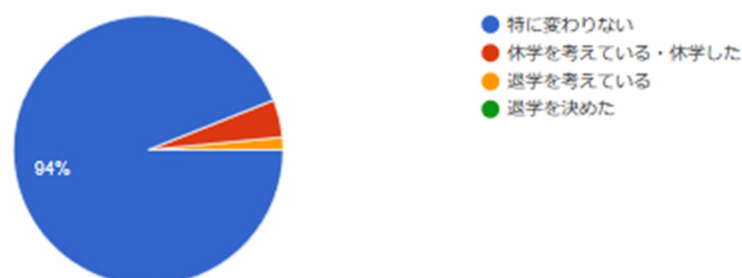
あなたの奨学金利用状況について教えてください。

267 件の回答



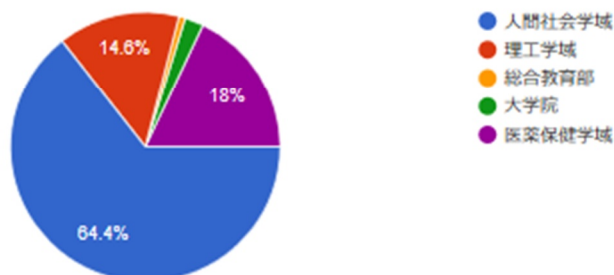
あなたは、今後の学生生活についてどのように考えていますか。

267 件の回答



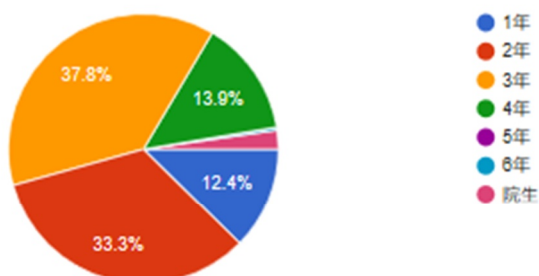
あなたの所属を教えてください。

267 件の回答



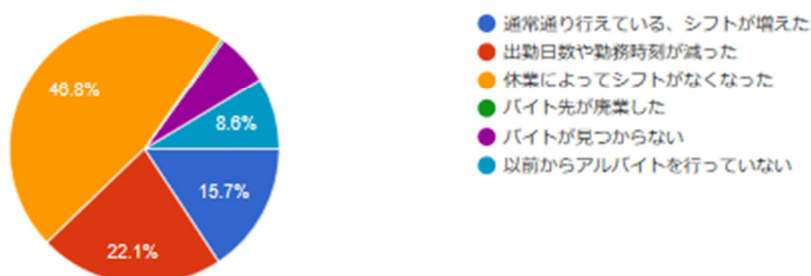
あなたの学年を教えてください。

267 件の回答



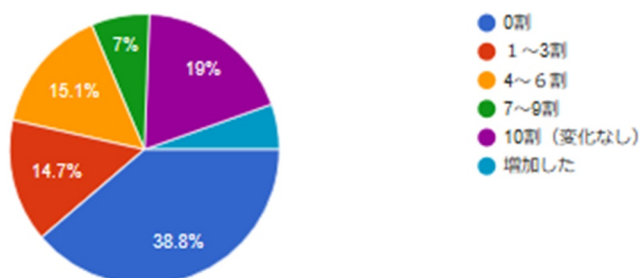
あなたは新型コロナウイルス感染症感染拡大後もアルバイトを行っていますか？

267 件の回答



アルバイト収入は通常時と比べて、変化しましたか？

258 件の回答



記述回答一覧

- アルバイトのお金が減ってしまい、生活費を捻出できていないため、実家に
戻り休学の検討をしている。
(人間社会学域 4 年)
- オンラインによる講義の質の低下
(理工学域 2 年)
- "オンライン授業によって授業の質が
低下していると感じている。友人と意
見交換をしたり、教授とその場で質問
について話し合うことができず、歯痒
い思いをしている。(人間社会学域 3 年)
- また、コロナの収束の目処が立たない
ためアルバイトも出来ず、収入の確保、
教育実習に向けての貯金ができない
(教育実習があるかも不透明であるが)
(人間社会学域 3 年)
- お金がないより学業が心配 遠隔授業
と言っても本当にうまくできるか心配
(人間社会学域 2 年)
- お金が尽きること(親の収入的に奨学
金を借りることは不可能)
(人間社会学域 3 年)
- お金の問題で学問を諦めないと行けな
いような方から順々に支援してくださ
い。(理工学域 2 年)
- これ以上自粛が続くと退学を検討する
学生がますます増えるのではないかと
考えています。(人間社会学域 1 年)
- バイトで人と接触すること
(総合教育部 1 年)
- もし親がコロナに罹患したら、まだバ
イトができていない自分の生活も一気
に立ち行かなくなるので心配です。
(人間社会学域 2 年)
- 海外留学を考えているため、この状況
が長期化すれば留学費用を稼ぐために
部活動の退部を検討する可能性がある。
(人間社会学域 3 年)
- 学校側が体面授業を開始するタイミン
グで本当に安全が確保されている、と
私自身が判断できない場合自分は学校
に行こうとは思わない。だがその時の
授業の扱いが心配(人間社会学域 3 年)
- 学費が例年通り変わらないと、経済的
に厳しい(人間社会学域 3 年)
- 給付奨学金の入金が遅れていて不安
(人間社会学域 2 年)
- 教育実習などの実施
(人間社会学域 2 年)
- "教育実習の実施の有無によって卒業
要件が満たされるのかどうか。オンラ
イン授業はいいが卒論に向けたゼミな
どが行われないことによる不安
(人間社会学域 3 年)
- 金がねえ!(理工学域 2 年)
- 経済的に両親と分離しているので、自
粛中に働くこともできずこのままの状
況は耐えて1ヶ月しかもたない。
(人間社会学域 2 年)
- 健康(人間社会学域 2 年)
- 今はなんとか暮らせているが今後次第
では、お金に困ることがあるかもしれ
ないので、家は裕福でもないので、とて
も不安です。(人間社会学域 3 年)
- 今後の就職活動(人間社会学域 3 年)
- 自粛期間がいつまで続くのか。実際ど

れぐらい近くに感染者がいるのかわからない。(人間社会学域2年)

- 実際に5/7から本当に対面授業移行できるのか。(人間社会学域3年)
- 授業は受けたけれど、前期は大学に行きたくないです。(理工学域3年)
- "授業料の引き落としのタイミングが例年通りだと、収入が無いので厳しいです。退学はするつもり無いのですが、通えるか分からない経済状況にあります。今やってるボラさぼの活動とかでさえ辞めなければならない可能性があります、とても心配しております。
(理工学域3年)
- 授業料免除のルールが変わり、これまで全額免除だったものが2/3免除になってしまった。親に迷惑はかけられないのでバイトをたくさんしようと思っていたが、そもそもバイトが見つからずに困っている。(人間社会学域2年)
- 収入が0になり、生活が苦しくなる
(人間社会学域3年)
- 春休みが延長した分の授業料など免除したい(医薬保健学域4年)
- 新しいバイトが見つかるかどうか
(人間社会学域2年)
- 新入生のことが心配です。お金のことで、さらに心理的負担になっている人もいないのでしょうか。大学には貸与型の支援を求めたいです。
(人間社会学域2年)
- 親の収入が減り、自分のアルバイトだけでは学費が払えません
(理工学域3年)
- 図書館を利用できないが学術的な書籍は高額であり全て購入するのは困難で

ある(人間社会学域3年)

- 大学に通い続けることは出来るが、サークルが始まったりするとバイトが出来ていない分、サークルにお金を充てるのが難しくなるのでどうしようかと思っている。(人間社会学域2年)
- 大学の始まりなどについての対応が遅いのでこちらも困る。
(人間社会学域3年)
- 大学施設、図書館が使えないのに授業料を今までと同額払うことに納得できません。(人間社会学域4年)
- 寮は大丈夫なのか(理工学域1年)

- 3ヶ月では短すぎるのではないと思う
- こういった状況下で、大学が困窮している学生に対し救いの手を差し伸べてくれている事実に対し、一定の評価は与えたい。ただし、学生が置かれている経済状況によっては、貸与ではなく給付する、という対応も是非検討してほしい。
- この状態がいつまで続くのか先が見えない中で、今回の緊急融資の件は大学側にとっても極めて難しい判断だったと推察される。もちろん現在において多くの学生が経済的に苦しい状況に立たされているのは事実だが、短絡的に支援を拡大するのではなく、大学には長期的に計画性のあるお金の使い方をして欲しいと思う。
- やっとかあ、遅いなという所感
- 給付してくれ
- 給付でなければ返すことが出来ないかもしれない
- 給付にしてほしい
- 緊急支援にしろ貸し出す以上借金と代わりないのでまずこの支援に返さなくても良い支援策を一部取り込むなど必要だと感じた。
- 経済的に困窮しているわけではないので自分にとってはあまり必要性を感じない。
- 絶対給付してもらえればいいのと思いますが実現不可能なのもわかっているってかんじです
- 全学生対象にすべき。
- "緊急融資に関して、最初は「5万くれるんだ、ラッキー」なんて思ったのです

が、結局借金だと知って申請するのはやめにしました。ニュースで多くの大学生が退学を検討している、と聞いてとてもショックでした。感染症のせいで学びの場を奪われるなんてとても悔しいです。そしてそのような方が金大にもいらっしゃるのだろーと思います。親元を離れ、一人でお金を稼ぎながら一生懸命勉強している学生を、今こそ大学がサポートしてほしいです。あと、アンケートの内容とは関係がないのですが、このアンケートを実施した方はどのような組織の方なのだろうと思い、誠に失礼ながらツイッターでアカウントを少々拝見させて頂きました。大学生のため、教育のために一生懸命活動している方なのだと分かりました。このようなアクションを起こして頂き、本当にありがとうございます。アンケートに答えることしか出来ませんが、これが学生にとって良い結果をもたらすことを願っています。どうかご自愛下さいませ。後半関係ない話を長々としてしまいすみません、失礼致しました。

- 現時点では私は経済的に困窮した状況にはないため融資への申込みは検討していないが今後そのような状況になった時、給付ではなく融資であるため、申し込みがためられる。自分の親もいつ職を失うかわからないし、私自身も卒業後就職できるかもわからないため、給付ではなく融資であるというのは不安である。
- 返済式ではなく、給与の方が良いと思う

- 駐車場の有料化はやめてほしい。
- オンライン授業によって、普段配られてるレジュメ資料とかがないにもかかわらず、学費一定、もしくは値上げなんておかしいと思う。せめてコピー用紙代引いてほしい。
- まずは、無利子・無保証融資についてです。私は奨学金も借りているためこれ以上借金が増えてしまうのは困ります。これ以上借金を増やしたくはないのですが、3つしていたバイトも全て休業になってしまい、お金を借りざるを得ません。また、2月に父親が亡くなり、生活もより厳しくなっています。母親もパートで以前よりも給料が少なくなっています。どうか、給付していただけるようお願いしたいです。オンライン授業におきましても、資料を配布し課題を出して終わりの授業も多く、ちゃんと理解できているか不安です。授業も教師によってクオリティの差が酷いです。ちゃんと1時間半の動画を作成し、資料を配布する教師もいれば、難しい専門用語が羅列した資料を配布し、各自で調べて課題提出という授業もあります。仕方ないことではあると思いますが、これで今までと同じ授業料なのは納得がいきません。大学にも行けず設備も使えていないので、授業料を減額してほしいと思います。よろしくお願いします。
- 私が金沢大学に求めることは授業料免除です。
理由としてまず、今年度からの新たな授業料免除に申請し、学業も学類の半分以上の成績を収め、授業料免除をい

ただこうと考えていたのですが、家計基準を満たしていないとの通知を受け不採用となりました。申請書にも記入しましたが、実家の家計は非常に厳しく、私もアルバイトで授業料を稼いでいる状態です。金沢大学の基金の応募も考えましたが、将来の借金を増やしてしまうことは大変怖く、現在いただいている貸与奨学金で精一杯な状況です。また、他の理由として大学の施設が使用できないことが挙げられます。特に文系の私は図書館が利用できないことが非常に痛手で、レポートの参考資料や知見を深めるための読書活動ができない状況です。これは大学に所属しているメリットの大きな部分を欠いていると考えます。

6月以降大学に登学できるとしても、これまでの2ヶ月間大学施設の使用ができなかったことは大きな損失です。

また、オンライン授業の不安定性も挙げられます。いまだに90分を満たした授業は数えるほどもなく、適切な授業料分の学びを受けられているとは考え難いです。先生によってはワードのデザインが文字の羅列のみでわかりづらい授業などがあり、満足のいく学びができいていません。また、私はアルバイトで授業料を稼ぎながら大学に所属しています。実家の家計にも余裕はほとんどなく、私はアルバイト収入のほとんどを授業料にあてており、満足のいく食事ができず、また、満足のいくほど学習に時間も当てられず、健康的な生活を送れていません。誠に勝手に私的な事情ではありますが、授業料免除をい

ただけると、より充実した学習ができると考えております。

他にも、上記の事情から給付金をいただけると嬉しいです。他の大学も給付金の配布が決定している大学も多いと聞いております。

以上です。よろしくお願いいたします。

- 駐車場有料化に反対です。過去に金沢大学教職員組合から反対されているにも関わらず、なぜこの時期に有料化する必要があるか不明です。
- 融資に関しては在学中の一括返済に疑問を持ちました。自分は融資に頼る程困窮はしていませんが、本当に困窮している人達はその条件に不安を感じてしまい、萎縮効果があるのでは無いかと感じました。
- また詳細を調べることが不可能なため、論理的では無いかもしれませんが現在大学設備の使用が 4.5 月分皆無の状況ですが、電気代水道代等の諸経費はどの位になるのでしょうか？浅はかな思考であるとは理解していますが、その財源はどこに使用されるのか知りたいです。
- オンライン授業に関しては満足しています。それより対面授業の再開に関しての不安が大きいです。最近是小中高の再開についての議論が物議を醸していますが、私は反対派の立場です。なぜなら若者は重症化しないとの情報がありますが、無症状又は軽症の若者が同居家族にうつしてしまう可能性はおおいに考えられます。
- 人間社会講義棟の講義堂には広いものもありますが、その分受講者も多く三

密は避けられないように思います。前述の通り個人的にはオンライン授業に満足しておりますので、5月いっぱいと言わず、Q1 全てをオンライン授業にしていきたい次第です。研究や実習等オンラインで不可能な授業に関しては検討の余地があると思います。

- 学費の据え置き、留学制度の補填
- 授業料減免 前期全ての授業のオンライン化
- ・大学の講義によって、講義の質に差がある。教授の中にはオンラインに不慣れな方もいる。そうした教授へのサポートをきちんとしてほしい。
・ピアノや声楽などの実技の講義が遅れている。現在、大学内は登学禁止になっているが、ピアノの個室を解放してほしい。(時間制限等はあっても良いので)
・教育実習はどうなるのか
・セメスター制からクォーター制に変更したため、週に 2 回行う講義がある。こうした講義は特に遅れをとっていて、セメスター制のままでよかったのではないか。週に 2 回講義を行うと当然その分進度が早くなるわけで、教授や学生の負担も大きくなる。クォーター制をそこまで押し切った理由が正直よくわからない。(今更変更しようがないことだとわかっていますが、文句を言いたかっただけなので学長に伝えなくても大丈夫です)
- 今後の授業をどのようにしていくのか早めに決定し連絡してほしい。
- 生徒への迅速な情報提供
- 教員や事務の方々には申し訳ないが、

前期終了まで授業をオンラインで行って欲しい。

- 正直、今の状況で6月中旬から対面での授業を再開できるとは思えない。
- 1. 生活困窮学生への金銭的支援の拡張、融資金額の引き上げ、返済期限の延長、行政支援へ繋ぐサポート
- 2. オンライン講義における学生、教員、大学事務の負担軽減策の提案(臨時職員採用など)
- 3. 政府に対する運営費交付金増額の要請
- 全ての学生の自動車通学の許可
- ①無理やりで急な英語導入をやめてほしい。生徒の英語レベルとの釣り合いが取れていないように感じる。特に専門分野は、専門的な単語が多く英語化が難しい教科もあるため、全授業の英語化に反対する。生徒にとっても教員にとっても負担である。急に専門的な学問を英語で理解せよというのは無理があるので改善願いたい。
- ②コロナの影響で大学の施設を使用できていない。例年より経費がういていけるなら、施設運用費の分は、学費を減額すべきと思う。しかし、急なオンライン化で、現場はかなり混乱しているように見えるため、対応にあたられた職員、教員の皆様にその分を還元していただきたい。
- もし、経費がういてないのなら、その分をどこに利用したのか説明していただければ、生徒は納得すると思う。
- コロナへの対策
- コロナで大学に入れなくなっていますが、図書館や論文検索サービスが使える

ず授業のみ受けている状態でのそのまま学費徴収はあんまりです。どうかしてください。

- 交通の利便性
- 北鉄バスのみしか使えないのに車通学がほとんど通らないのは何故ですか。大学院生にもなれば深夜までかかることはよくあります。なぜですか。
- 授業料減免 Q2も引き続きオンライン授業の継続(通常時もオンライン授業の積極的活用を)
- 感染リスクを軽減するため、前期いっぱい遠隔授業を継続をすること
- 授業のオンライン化
- これは恒常的なもので、オフラインでやらないと相当な不便が生じる場合以外は基本オンラインにすること。
- ひとつひとつの授業で課される課題が多くて毎日の時間的・精神的圧迫が著しい
- アカサスポータルの回線状況の改善、および授業料における返済不要の奨学金。